

令和4年度(2022年度)つくば市役所地球温暖化対策実行計画事務事業編実績(対象:つくば市庁舎及び出先機関)

| 項目 | 2013年度 (基準年度) 実績値 | 2021年度 実績値 | 2022年度 実績値 (*は、調整後) | 基準年度 からの 増減 | 基準年度比 (%) | 前年度比 (%) | 増減の主な要因 | |
|--------------------|-------------------------|---------------|---------------------------|-------------------|--------------|-------------|--|---|
| 温室効果ガス総排出量 (t-CO2) | 51,566 | 48,704 | 58,189 *57,466 | 6,622 | 12.8% | 19.5% | 令和4年度(2022年度)の温室効果ガス総排出量実績は、基準年度である平成25年度(2013年度)の51,566t-CO2から約6,600t-CO2、12.8%増加し、58,189t-CO2であった。前年度の令和3年度(2021年度)と比べると約9,500t-CO2増加した。 | |
| 部 門 別 | 運輸部門 | 739 | 623 | △ 116 | -15.7% | 14.1% | 運輸部門については、基準年度と比べると減少しており、車両の燃費向上が一因と見られる。 | |
| | 業務その他部門 | 19,916 | 19,258 | 19,327 *18,604 | △ 589 | -3.0% | 0.4% | 業務その他部門については、基準年度と比べ横ばいの状況である。電力の環境配慮契約導入によりCO2排出係数が小さい電気を使用することで、電気の使用に伴う温室効果ガス排出量は大幅に減少している。CO2フリー(排出係数0)のメニューを契約している施設もあり、調整後の排出量は18,604t-CO2であった。 |
| | その他ガス | 30,905 | 28,893 | 38,232 | 7,327 | 23.7% | 32.3% | その他ガス部門については、基準年度と比べ約2割増加した。一般廃棄物中の廃プラスチック類の割合が高かったために、その焼却に伴う排出量が増加したことが主な要因である。 |
| | HFC等4ガス(フロン類) | 7 | 6 | 6 | △ 1 | -10.1% | -5.5% | HFC等4ガスについては、基準年度と比べ若干減少した。これは、公用車台数が減少したことによるものである。 |
| 電力使用量(kWh) | 33,307,086 | 36,810,905 | 37,613,554 | 4,306,468 | 12.9% | 2.2% | 電気使用量については、新型コロナウイルスの影響により休館していた施設が通常稼働に戻ったこと、クリーンセンター定期点検により電気を購入した(通常は廃棄物焼却によって発電した電気を自家消費している)こと等により、令和3年度(2021年度)より増加した。基準年度と比べると、小中学校、児童クラブ及び学校給食センターの新設、上下水道の使用・処理量の増加、サステナ管理課におけるごみ処理量の増加等、人口増加による影響により、増加している。 | |
| ガソリン購入量(L) | 216,745 | 168,741 | 195,076 | △ 21,669 | -10.0% | 15.6% | ガソリン購入量については、新型コロナウイルスの影響による公用車走行距離の減少により、令和2年度(2020年度)に大幅な減少が見られたが、令和3年度(2021年度)以降通常稼働に戻ったことで増加傾向にある。基準年度と比べると、減少した。 | |
| 軽油購入量(L) | 89,696 | 60,072 | 66,154 | △ 23,542 | -26.2% | 10.1% | 軽油購入量については、新型コロナウイルスの影響により中止していた学校の校外学習等が再開し、教育局バスの稼働が増えたため、令和3年度(2021年度)より増加した。基準年度と比べると、幼稚園や保育所、福祉支援センター等の送迎バスの燃料が軽油からガソリンに転換されたことにより、減少傾向にある。 | |
| A重油購入量(L) | 162,800 | 45,200 | 63,290 | △ 99,510 | -61.1% | 40.0% | A重油購入量については、非常用発電設備等のための購入により、令和3年度(2021年度)より増加した。基準年度と比べると、給食センターのエネルギー転換(都市ガス化)によって大幅に減少している。 | |
| 灯油購入量(L) | 520,477 | 294,853 | 319,450 | △ 201,027 | -38.6% | 8.3% | 灯油購入量については、クリーンセンターの発電設備故障による非常用発電設備稼働のため、令和3年度(2021年度)より若干増加した。基準年度と比べると、エネルギー転換(都市ガス化)により継続的に減少している。 | |
| 都市ガス使用量(m³) | 572,328 | 1,082,321 | 1,229,879 | 657,551 | 114.9% | 13.6% | 都市ガス使用量については、新型コロナウイルスの影響により休止していた出先機関の施設が通常稼働に戻り、令和3年度(2021年度)より増加した。基準年度と比べると、液体燃料からのエネルギー転換により、大幅に増加している。※都市ガスのCO2排出係数は、液体燃料(軽油、A重油、灯油)に比べて低く、高効率機器の導入が進んでいる。 | |
| プロパンガス使用量(kg) | 46,957 | 36,042 | 36,920 | △ 10,037 | -21.4% | 2.4% | プロパンガス使用量については、令和3年度(2021年度)と比べ、ほぼ横ばいの状況である。基準年度と比べると、エネルギー転換(電化、都市ガス化等)等により、減少傾向にある。 | |
| 熱使用量(MJ) | 6,895,973 | 6,447,638 | 6,671,354 | △ 224,619 | -3.3% | 3.5% | 熱使用量については、新型コロナウイルスの影響により稼働率の低かった施設が通常稼働に戻り、令和3年度(2021年度)より使用量が増加した施設がある。基準年度と比べると、横ばいの状況である。※熱は、主にカピオ、ノバホール、中央図書館、吾妻交流センター、つくばイノベーションプラザで使用されているエネルギーである。 | |

※電力使用量は、クリーンセンター(焼却施設)が使用した電力量のうち、自家発電して使用した電力量や自己託送による電力量を除いて算出。